

日本三奇観光パートナーシップ協定の締結について

1. 経緯

兵庫県高砂市とは、これまでに震災復興支援としてスポーツ少年団員（野球）の交流事業などを通して交流を深めてきました。

また、本市と高砂市においては、「日本三奇」（高砂市：生石神社「石乃寶殿」、塩竈市：御釜神社「四口の神釜」、宮崎県高原町：霧島東神社「天之逆鉾」）を有する自治体としてのご縁もあり、この度、3市町の観光協会において「日本三奇観光パートナーシップ協定」を締結する運びとなりました。

なお、本年5月31日・6月1日に「高砂市制60周年記念事業『ご当地博』」が開催された際には本市からも出展し、日本三奇のPRのほか、水産加工品の販売等を実施しています。

2. 日本三奇観光パートナーシップ協定調印式

- 日時：7月1日（火）14時45分～

※高砂市制60周年記念式典に引き続き開催されます。

- 会場：高砂市文化会館

- 出席予定者

- ・高砂市観光協会会長、高原町観光協会会長、塩竈市観光物産協会会長
- ・高砂市長、高原町長、塩竈市長
- ・生石神社宮司、霧島東神社宮司、志波彦神社・鹽竈神社宮司

※観光物産協会が協定調印し、市長及び宮司については立会人として協定に署名いたします。

- 協定内容

- ・観光情報の提供及び観光宣伝の協力
- ・民間や事業所間の特産品の流通の協力 など

3. 日本三奇

『石乃寶殿』（兵庫県高砂市）



高砂市宝殿山に建つ生石神社の御神体。岩山を削って造られた直方体の石造物で、拝殿からは平らそうに見える側壁だが、裏側の一面には三角形の突起が出ている。また、池中に浮かんでいるように見えることから「浮石」とも呼ばれる。

『四口の神釜』（宮城県塩竈市）



鹽竈神社の境外末社である御釜神社の御神体として祀られている。屋外にありながら、釜に張られた水は干上がることはなく、大雨が降っても水が溢れることがないとされ、「世に吉事あるいは凶事のある時、水の色が変わる」という言い伝えがある。

『天之逆鉾』（宮崎県高原町）



霧島連山の最南端にそびえる高千穂峰の山頂（1574m）にあり、霧島東神社の社宝として祀られている。いわれについては諸説あり、また、実際に祀られた時期も明確ではないが、江戸時代には広く知られる存在となっていた。

問い合わせ先
産業環境部 観光交流課
電話：022-364-1165
FAX：022-364-1169